

刊夕日二廿月三



定価一冊五錢... 電話六三〇〇

ハルピン事變籠城記 (12)

ハルピン日本小學校長 白髮隆孫氏寄

やがて十四名は安木大尉(特務機關付)に指揮され、六臺のバスに分乗した。先頭の大トラクターと最後のバスには機關銃を積込んで守備してくれる。一行はホルワット街を直通し、更に右折して病院街の兵舎に車を向ける。到る所で『萬歲々々』『覺束なく』と歓迎する露人、車中からも亦叫び返す。

このコーラスこそは狂喜そのものだ。その度毎に神經はビリビリとして顔は赤らむ。郊外を西南へ驅ること十幾分にしてインデングダンスキー驛の東方約三軒の小部落大牛房子に達す。バスを降り捨て、五十米ばかり離れた民家に急ぐ。入口に立つてゐる着剣の兵士に、

「死傷者を迎えに来ました...」
「いひ終るや直にせまくるしく、そしてニン肉臭い眞暗な室の中に飛び込む。『兵隊さん...御苦勞でした...おきつかつたでせう...』」

「もう涙がにじんでゐた。『ありがたう、すみませぬ。胸をやらせてゐますから頭を持って起して下さい...』」
「二三人がかりで漸く戸口の擔架に臥かせる。上着までにじみ出た血、茶褐色に染まつた左手袋、上膊をやられてとれどもなく流れて来た爲めだ。こはごは四人が自動車まで運ぶ。下腿の肉をとばされた兵士は、假細帯のまゝ、或はにじり或は銃を杖にして自動

「あ、速く乗せて歸りたい。あの痛さをどうしやう...」
「氣はあせる...」
「車内に入れやうとした時うなり出した機關銃隊の一士...」

高月會 三月例会 (五)
蛙の子
水温む田底に集ふ蚪斗かな
水濁り蛙の卵ふやけけり
山の井れ醜きお玉生れけり
岸草にお玉子のよる日ざし哉
棒杭をはさんでせわしお玉かな

鐘樓 城山 胡生 天仙 良亭

「さあ、これからハルピンへ行かう」
口ずさみつゝ、蔽はれた外套をとる。小窓からさし込んで来るかすかは外の明にポイントと浮き出した顔...
「思はず頭は下る。熱涙は下る。」
「昨日まで、いや先刻まで敵の猛射に屈せず、第一線に立つて勇ましく戦つてゐたのに抱きついて今一度『萬歲』を聞かしたくなる」
「死傷者を乗せたバスは夜の郊外をうねりうねつて埠頭區の野戦病へ急いだ(完)」

「さあ、これからハルピンへ行かう」
口ずさみつゝ、蔽はれた外套をとる。小窓からさし込んで来るかすかは外の明にポイントと浮き出した顔...
「思はず頭は下る。熱涙は下る。」
「昨日まで、いや先刻まで敵の猛射に屈せず、第一線に立つて勇ましく戦つてゐたのに抱きついて今一度『萬歲』を聞かしたくなる」
「死傷者を乗せたバスは夜の郊外をうねりうねつて埠頭區の野戦病へ急いだ(完)」

通學服賣出

新學期が近づいてまいりました。坊チャマ・嬢チャマの可愛い通學服を色々取揃へました。

- ◇男兒用
小倉服...0.85
同特製...1.70
紺サージ...3.40
- ◇女兒用
紺セルセラー服...2.60
綿セルセラー服...1.10

防水マント種々取揃へて御座ひます。
ふかや洋服店 平電203

旭硝子株式會社製品

板ガラス

製造 賣販
硝子食器
菓子壺
其他各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)
仙臺市榮町 電話五九七番

皆三二一!!!

自動車は最新の三二一年型!!!
車体番號は福島三二二番!!!
そして電話は三二二番へ

此度皆様の御愛顧と御後援を仰ぎタクシー部をもうけました。處女營業の事として地方皆様の御愛顧を得て進みたく従業員はヘビーを盡してサーピスあるのみです。車は御氣に召す様にと三二年初春のトップを切つた最新型を整ひましたから是非お召し下さい。

一九三二年と車体番號に因み
三二番の電話を御利用下さい
平町白銀町 加藤丈夫營業所

不二タクシー

主任 菅本 昇

藤田女學校生徒募集

- 一、本科 五十名
- 二、裁縫專修科 百名
- 三、師範科 三十名
- 四、專攻科 二十名
- 五、本科裁縫專修科二年補欠編入若干名

(新設)選科(晝間部)五十名
(夜間部)三十名
右希望者ハ至急願書提出ノコト
詳細ハ本校宛學則請求セラルベシ
昭和七年三月
福島縣平町田町
文部大臣 藤田女學校
認可
電話 三二八番

木村病院

平新川町十九
電話 一六四番

産人科 院長 木村寅次郎
婦人科
内臟外科 醫學士 松永憲一
整形外科

清酒品評

白馬の雪一等入賞 小池技師審査決定

石城酒造組合では十八日より三日間平稅務署樓上に於いて清酒喇酒品評會を開催したが廿日仙臺稅務監督局技師小池嘉之氏が審査の結果入賞者は左の如く決定した

(優等)白馬の雪松本徳一
小錦和泉屋酒造本店 福鶴本馬佐源次(二等)鶴仙松吉屋酒造店、福美四家又一、平玉馬目玉彌、松の友豊田吉松(二等)伊勢盛近藤吉、松花井の譽大平陸四郎、稻妻古川傳一澤之井鈴木兵十郎、清盛矢吹清貞(三等)近盛馬目合名會社外卅二名

本日の町會

既報平町會は本日午前十時より町會議室に開かれたが當日の附議事項の如くである

△實業補習學校學則改正の件
△汚物掃除請負契約繼續の件
△寄附金品採納の件
△愛谷堰水利組合契約繼續の件
△昭和六年度平町蔵入出更正豫算の件

麥作狀況

神谷分場調査

石城郡神谷村農事試験分場でした本年度麥作の伸長を見ると本年は早生、中生、晩生の平均丈は六寸七分五厘昨年四寸七分二厘分蘗一寸二分六厘昨年一寸三分七厘にて播種時より高温であつたのと降水量の多い結果草丈は例年より非常な伸長を見たが分蘗に至つては例年より幾分劣つて居る模様である

二毛作其他の共進會入賞者

明日授與式舉行

石城郡二毛作畑作小麦及推肥共進會褒賞授與式は明日午後一時から團體事務所にて舉行されるが入賞者左記の如くである

△一等(紫雲英)勿來町 荒川信義(大麥)夏井村 鈴木留治△二等(紫雲英)渡邊村 高木秋夫(大麥)草野村 江尻傳 好間村 鈴木儀助 同村 熊谷信安(推肥)小名濱町 柳内義治 同町 山崎音之助 鹿島村 黒木美顯△三等錦村 永井又一外四十一名

中堅農民修得者

明日終業式

石城郡第四回中堅農民養成講習會は明日午前十時より團體事務所にて修了式を舉行する筈であるが修得者氏名左記の如くである(○印は無欠席)

(大野村)木村徳次 門馬榮 鈴木康之助(村上喜多司 古内正三○菅波市郎○會田正(鹿島村)藪部平四郎 高萩正一(山田村)○鈴木一(渡邊村)國井鐵郎 瀬谷一見 岡部要 小野言次郎 中村善武(上遠村)井澤忠雄

教育部會

豫算

石城教育部會の本年度豫算は過般平町役場に開かれた町村長支會の結果總額五千廿一圓に可決されたが前年度豫算四千九百六十二圓より五百九十圓の増加を見た

平職業紹介所報告

求人者の部

△出前持 廿才迄 月五圓位(平町某洋食店)
△女中 卅才以下 尋卒 月十四五圓(東京市某食糧品問屋)
△倉働 廿五才以下 尋卒 給料面談(四倉町某)
△女中 卅才以下、尋卒、月十四五圓(東京市某食糧品問屋)
△倉働 廿五才以下、尋卒 給料面談(四倉町某)
△出前持 廿才前後、尋卒 給料面談(平町某そば屋)

求職者の部

△雑夫 六二才 尋卒 給料面談(平町某)
△活版工 廿五才 尋卒 給料面談(平町某)
△紙箱製造工 廿一才 尋卒 給料面談(東京市某)
△自動車助手 十九才 高卒 給料面談(上小川村某)
△土工 卅二才、中學二修、給料面談(川部村某)
△女中 廿才、尋卒、給料面談(湯本町某)
△鋸職 卅六才、高一修、給料面談(埼玉縣某)
△店員 廿四歳、商業二、給料面談(茨城縣某)
△雑夫 六二歳、尋卒、給料面談(平町某)

募 三勇士遺族の甲慰金

嗚呼忠勇無比の三勇士何ぞ其の壯烈なりしぞ鬼神も爲めに慟哭せむ、實に振古未有驚天動地の偉業にして人生を超越し洋の東西に冠絶す、古今英雄多しと雖も蓋し三勇士に如くものなからん宜なる哉其の心情英雄以上の英雄なり、今や同胞國を擧げて戦に赴かんとする際か彼の三勇士に感激せざるものあらむ殊に目下外交は危機に瀕し東亞の風雲彌々急ならむとする秋、内は國民の士氣を鼓舞し外は國家の威武を宣揚する誠三勇士に負ふ處甚だ大なるを痛感するなり、名將曰く「吾が皇國も三勇士ありて亡びず」と真に至言にして正に彼を弔ふ最大最高の弔辭なり、然らば彼等三勇士こそ日本軍人の龜鑑にして大和民族發展の尊き犠牲者なり、吾人は彼等殉國の忠誠を永遠に紀念し併せて千古不磨の英靈を弔はん爲め彼の三勇士遺族へ薄志を饒け以て聊か勇士の靈を慰んとす 愛國の士奮つて賛せられんことを

主唱 阿部政右衛門
後援 常磐毎日新聞社

一 弔慰金一人金拾錢均一に願ひます
二 弔慰金は平驛前丸ッ阿部石炭店又は常磐毎日新聞社に御届を乞ふ
三 寄附者芳名を常磐毎日新聞紙上に掲載領收書に代ふ

寄附者芳名

新川町 鈴木 房吉	新川町 橋内 勘七
大町 栗田 民三郎	長橋町 菅野 柳三郎
長橋町 松本 嘉七	五町目 菅野 松三
新川町 戸井田 七男	飯野村白土小野 正夫
大町 小池 養之助	舊城山 渡邊 松治
神谷村 佐藤 忠義	内郷村小島安藤 新八
飯野村白土久田 定美	神谷村 國井 國次
平五町目 吉田 柱男	田町 布川 清吉
下河原 吉田 勇三郎	搔搥小路 小賀坂 重次
仲間町 黒澤 初太郎	田町 阿部 菊藏
新川町 池田 富次	立町 齊藤 常吉
立町 渡邊 市	大町 岡部 勇松

小學卒業兒童の就職希望傾向

最高男子は運轉手 女子は看護婦

平職業紹介所では連絡小學校の本年度卒業生中就職希望を有する男子六十三名、女子卅八名、計百一名の希望職業を調査した處に依ると男子の希望では自動車運轉手見習及び職工が最高で次は電工、施盤工、仕上工洋服職人等の技術方面が多く、また女子では看護婦が最高次は電話事務等に占められ女工や女中は殆んど見られないと

カルタ 優勝

廿日競技

既報平カルタ俱樂部主催の關東北カルタ競技大會は廿日午後二時半より藤田女學校に催され参加者五十名にて盛會を呈したが當日の優勝者は左の如くである

- 一等(湯本音羽會)宮下茂
- 二等(平カルタ俱樂部)河瀬貴代志三等(好問會)織田正、四等(同會)太田孝一、五等(同會)福田隆聖

窃盜常習懲役 石城郡好問村大字上好問字上下日立變電所社宅引地正外三

日迄の間三回に亘り窃取したる本籍南會津郡伊北村大字只見字田中千二百十二番地目下住所不定前科三犯目黒平三郎(三)に對する窃盜事件公判は去る十九日午後一時より平區裁判所に於て中島判事係り山本檢事立會の下に公判開廷檢事より懲役一年半求刑され即日判事より懲役二年の言渡しがあつた

失業の老人

生活苦に追はれ 山奥の林で縊首

石城郡好問村大字北好問字枯木平居住無職の藁谷辰治(六)は數年來三兒を抱いて失業し生活苦に追はれて居たが廿日墓參の爲めと稱して家出をした儘歸らぬので附近の者が大騒をなし搜索中昨廿一日午後四時頃隣村箕輪村境字中根山林地内で縊死して居るのを發見した

磐中の一年生が

父の愛妾を刺す 實母に同情の餘り

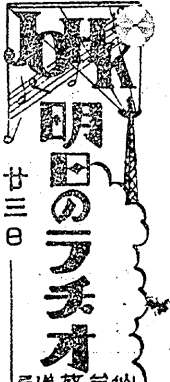
平町杉平某生命保險外交員高玉徳彌二男(一)假名は二十一日午後三時半父の愛妾高木なな(三)と口論の末懷中してゐた刃渡三寸餘の海軍ナイフでなかの右乳下を刺し通れとばかり突き刺し瀕死の重傷を與へた急報に接し平署から係官出張渡

好問村の短歌會

出席者の詠草

昨二十日午後一時より好問小學校に於いて詩南社好問支部發會式を兼ね誌友短歌會を催した岩佐同人の發會挨拶についで小山田氏の激勵駒嶺支部顧問の感話宮田氏の挨拶等あり短歌會に移り小山田、山下、宮田諸氏の互選批評を終つて座談餘興等あり來會二十餘名盛會を極め大竹支部長の謝辭あり五時半散會した因に當日の詠草左記の如くである

- 春
- 長雨の時れたる土手に草の芽の青く小さきわかなしかりけり 三村哲郎
- 椿ひらう乙女子のむれまじはりて春の一日を我も遊ばん 岩佐光明
- ころ／＼と青木圓ら實こぼしつゝ春雨降りて夕づきにけり 山下多賀子
- ふと自覺め君を想へばかすかなる音をたてつゝ春の雨降る 鈴木マサ子
- さゝやかに瀧の音きこゆ彼方よりうぐひす鳴ける 聲もまじれり 志賀雄平
- 空高く鳴くやひばりの聲さへものどけき春を共によろこぶ 吉田歌代子
- おぼろ月淡く照らせる春の宵一人静かに物憶ふかな 松原ひろし
- 春の日に若人巢立つ校庭にスバイクの跡いつか消えたり 中川 榮



明日のラジオ

廿三日

今晚は北風の晴れ明日は北西の風晴れ夕方より曇り

今晚の部

- 後六〇〇 子供の時間 獨唱 平井美奈子
- 後七三〇 講演「放送記念日に際して」日本放送協會々長岩原謙三
- 後七四五 歌曲「桐の花」 箏低音菊仲米秋 箏高音菊澤千代子
- 後八〇〇 放送舞臺劇「桐一葉」千駄ヶ谷中村歌右衛門自宅より中繼
- 後八五〇 管絃樂 東京府下荏原町新交響樂團練習所より中繼

明日の部

- 後九四〇 全國ニュース 氣象通報 番組豫告
- 前七三〇 佛教講座「四十二章經(六)大本山總持寺副監院孤峰智瑛
- 前九二〇 料理献立「フレンチパンケーキ」松本良雄
- 前一〇三〇 家庭講座「家計簿記」大原信徳
- 後〇〇五 浪花節「荒木又右衛門」桃雲閣吞風
- 後二〇〇 家庭大學講座

平町人事

- 回出生 舊城跡一二 駒場隼氏三男 昭三 女和子
- △二丁目八 佐藤金作氏五男 利男
- 回婚 雙葉郡富岡町字釜田菅原孝氏(三三)平町杉平渡邊政子(二二)
- △東京市芝區南佐久間町二丁目一 黒川善之助氏(四七)平町銀治町六 高根澤ケサ(四七)
- 回死 △揚土一七 桑原重子(一九)
- △播磨小路二九 廣木君子(四ツ)

希望

- 吾が希望何もなかりき晴れた日の公園のベンチに一人遊べり 三村哲郎
- 希望をば捨てしと云ひて我が友は暫し空行く雲を眺めき 岩佐光明
- 水ぬるく風暖き春の日に

謹告

今般田町火災の際に類焼致し候爲め左記に於て一層の親切丁寧を旨として營業致す可く候間何卒御引立を賜り度御願ひ申し上げ候

假營業所

平町田町丸新デパート内

根本時計店

慕末齋

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

【第七席】

度胸のいゝ林藏

藤倉の觀音堂の境内で所澤の彌五郎、萩窪の仙太郎、阪戸の萬助の三人を斬つた秋山要介は川越に戻り、翌日目附菊地治太夫の許に訴へて出たは



『昨日藤倉の觀音堂へ參詣致した時博徒共無禮を働きし故これを斬り捨てた此段お届け申す』

と斯う訴へた、茲で目附か段を調べると殺された者は彌五郎に仙太郎に萬助といふ無頼漢、然し悪い者にもせよ三人を殺した上は能く斬つたと賞めて免す譯にはなりません、そこで重役評議の上閉門との沙汰、小仙波の友吉は自分の賭場の喧嘩から要介が閉門になつたと聞いて誠に氣の毒に思つた、然し閉門中の要介を訪ねることは出来ない、親父友右衛門に向ひ

は閉門のみでは刑罰が軽い重役に申立て相當の刑に行うとしたそれを聞いて要介が此儘では腹を切らせられる事にもなるが博徒三人を斬つた爲に切腹いたすは残念、依つて今の内立ち退けて夜をまぎらして、邸を飛び出し友吉の許に來た、友

吉も秋山は恩人ではあるが此處に隠匿つて置くことは出来ない、いろ／＼親父とも相談の上入間郡赤尾村の磯五郎の許へ秋山を送りました、磯五郎は目明しでの顔役

『まあ先生當分遊んでお在でなさい、此處も貴下の御主人松平大和守様の御領主様の御用を聞いて居る者そこへ貴下が居るとは御重役の方も氣が付きますまへ又貴下は殿様に悪い事をした譯でも無し、御威風に背いた譯でも無い、只武士でありながら博奕打の喧嘩に

『成る程、これは先生の云ふ事が理窟、膽の大きい奴が腕が出来たならば恐ろしい事はねえ、ところで、先生は出來ますか』

『人間は度胸さへ宜ければ白刃に取巻かれたとてビクともいたしません、生れたからには死ぬときまつてゐる、病死をするとも斬られて死ぬとも死ぬ道は一つつまり意久地がねえからどうしたら身を守護することが出来るかと、それで劍術などを習ひます』

『愚な事を申すな、如何に膽が太くとも劍道の心得の無き者は其の技に達し居る者に出遇ふては命を全ふいたす事はならぬ、度胸があつて、その上に劍道に達し居れば虎に翼を添へたやうなものである』

看護婦急派の求めに應じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

時は春!!!

●新入學生の通學に... ●セヒ必要な時計を...

営業種目
時計 眼鏡
指輪 電燈
其他貴金屬

店計時堂寶白

(へ向店服吳橋諸)町川新町平

新入學生へのプレゼントには...

御携帯用にセヒ時計を お獎め致します

常ニ商品の確實と流行の粹は時代のスタイルを切つて顧客本位を生命として各位様の御來店をお待ちして居ります

●御注文及び修理は 電話一九五番へ

鐵道省御用 金光堂

平五(釜屋向ひ) 電話一九五番

門 專

産婦人科 花柳病科

井坂醫院

平町田町 電話五五九番

意用御の級進學入方様子お

靴。子帽生學

ルセドンラ

||總革製||

七十八錢
九十錢
一圓卅錢
四圓廿錢

ヤルツ

○四一電

新入學生へのプレゼントには...

御携帯用にセヒ時計を お獎め致します

常ニ商品の確實と流行の粹は時代のスタイルを切つて顧客本位を生命として各位様の御來店をお待ちして居ります

●御注文及び修理は 電話一九五番へ

鐵道省御用 金光堂

平五(釜屋向ひ) 電話一九五番